

二〇〇〇年

研究報告（第七冊）

『禪門寶藏録』の基礎的研究

西口芳男編

花園大學國際禪學研究所

『禪門寶藏録』の基礎的研究

西口芳男編

目次

解題……………京都大學名譽教授 柳田聖山

第一部 譯註篇

『禪門寶藏錄』譯註……………柳田聖山
西口芳男

序……………一

卷上……………一二

卷中……………一六五

卷下……………三三一

尼婆二則……………五一六

跋……………五三三

目次

第二部 研究篇

高麗中期禪宗史 — 崔氏武臣政權下の教宗と禪宗の動向を中心に —…………… 中島志郎…………… 五四一

『禪門寶藏録』の研究…………… 西口芳男…………… 六五五

あとがき…………… 西口芳男

『禪門寶藏録』本文索引

索引前書き…………… 西口芳男

語句索引…………… 1

固有名詞索引…………… 2 1

附録1 部首検字表…………… 2 6

附録2 四角號碼検字表…………… 3 5

凡 例

一、本訳註は、万曆三十九年（一六一一）智異山能仁庵刊の『禪門寶藏録』を底本としたものである。本文の翻刻は本字をもつて行つたが、別体のままのところもある。

一、『寶藏録』には他に嘉靖十年（一五三二）智異山鐵窟門刊本、卅統藏經所収本、隆熙二年（一九〇八）金井山梵魚寺開刊『禪門撮要』所収本があるが、それらの文字の異同については、『韓國佛教全書』第六冊所収の『禪門寶藏録』校記を参照されたい。

一、日本語訳は柳田聖山先生が担当され、本文の書き下し及び註は西口が担当した。日本語訳と書き下し・註とで食い違ふところがあるが、担当者の理解の違いであり、しいて統一せず、読者の判断にまかせることにした。

一、本文の則には通し番号及び適宜に見出し語を付けた。